くりのいが
夏の間に
日焼けした

友部小５年(当時)
根本　尚輝
（平成２９年度笠間市文化協会・
子ども俳句大会入選作品より）

支部だより ひかし

第 149 号

発行日　平成 30 年 9 月 20 日
発　行　笠間市社協東支部
編　集　広報委員会
印　刷　有限会社 テクノプラン

猛暑に負けず 夏祭り！

高房神社祇園祭り

7月29日に高房神社の祇園祭りが行われ、「子供会育成会」の指導で子どもたち24名がお神輿をかついで地域を回りました。お神輿をかついだ後は「鴻巣まちづくり実行委員会」が神社境内で出店を開き、焼きそば、ウインナー、ギョウザ、かき氷、綿あめなど２００食を参加者達にふるまいました。

出店の準備

子どもみこし さあ出発

南友部 子どもみこし祭り

8月4日に香取神社の第29回子どもみこし祭りが約２００名の参加で行われました。途中数箇所の休憩所で休みながら約2時間巡行しました。また、特養施設に立ち寄り、入所者と交流し、大変喜ばれました。夜は花火大会で約20分間、夜空に開いた打ち上げ花火を楽しみました。

特養施設で交流

子どもみこし 巡行

五平 盆踊り・盆綱

五平地区では8月4日に第39回盆踊り大会を開催しました。子ども達２５０人、大人２００人が笛や太鼓の生演奏のもと盆踊りを楽しみました。盆踊りの後は豪華商品が当たる人気のくじ引きでした。

また、8月13日と14日は子ども達の盆綱が地域の家々を周り、御霊の送迎をしました。

盆綱・行灯を手にさあ出発

盆踊り会場

元気で頑張っています
―病気知らずの長生き人生―

東ケ丘団地　富田　正子さん(86歳)

シルバーリハビリ体操指導士・佐藤武彦氏宅にて

富田正子さんは昭和６年生まれの86歳です。出身は石岡市（旧八郷町）の豪農です。幼少（小学校4年生）の頃から働き者で、鎌を自分で砥ぎながら草刈り作業等を手伝い、親孝行でした。

結婚してご主人と上京。ご主人はダンプカーの免許を取得して運送業で働きましたが、８年目に会社が倒産のためやむなく友部町に転居し、中央コンクリート㈱で就業していたところ、知人の紹介で友部町役場に転職し、以降定年まで公僕として働きました。

残念なことに21年前ご主人に先立たれ、現在は娘さんと２人暮らしです。食事は全て食べますが、牛肉と牛乳は受け入れることはできません。極力塩分控え目に心がけています。現在まで風邪を引いた事はなく、全く医者には縁がないそうです。昭和28年に盲腸炎で入院したのが唯一の病気とのことで正に鉄人です。

柿橋公民館で毎月２回行われているシルバーリハビリ体操教室には開設（平成25年）時から参加し、現在も継続中です。その他、毎日お住まいの周辺でのウオーキングは欠かしたことがないとのこと。

何時も元気で人との和を大切にされている富田さん、これからも健康に留意され余生を過ごされることをお祈りいたします。（聞き手　市川）

日光東照宮・鳴龍の不思議
女性部研修

柿橋西区　小池　友子

6月27日に支部役員3名と女性部員32名が参加した女性部研修が開催されました。支部内4つのブロックでそれぞれに活動している女性部員が、この研修を通して互いに親睦を深めることを目的としているものです。

当日は天候にも恵まれ、さわやかな新緑の中、世界遺産や国宝にも登録されている日光東照宮を散策しました。杉林の中に広がる色鮮やかな社殿群に目を奪われました。

薬師堂の天井に描かれている「鳴龍」は、その龍の顔の下で拍子木を打つと高い音が鳴り響き、龍の鳴き声に聞こえることからこう呼ばれているそうですが、顔の下以外ではそのように聞こえないのは本当に不思議でした。

湯葉づくしのおいしい昼食の後は、おかき工房でのお買い物、日頃の忙しさを忘れ、楽しいひと時を過ごすことができました。

今回の研修会に参加して感じたことは、楽しく活動しながら仲間づくりやコミュニケーションの場を広げていきたいということです。地震や豪雨などの自然災害が連日報道されている現在、身近な地域で助け合い支え合える地域づくりに微力ながらお役に立てればと思いました。

薬師堂の鳴龍

おかき工房にて

船村徹記念館「夢劇場」に感動
南友部ブロック・ミニサロン

女性部副部長　山口　弘子

6月15日に南友部ブロックのミニサロンが28名の参加を得て行われました。当日は朝から雨で紫陽花が色鮮やかに輝いていました。

前日、参加者へ確認の電話をしたところ、「明日は大雨らしいね。でも船村徹は大ファンだから楽しみにしてるよ。」とか、「年だから足腰が弱ってね。心配なんだけど行くからね」という声を聞いて安心したり、キャンセルが出るのではと不安に思ったりしながら当日を迎えたのでした。

記念館は、道の駅内にあり、バスを降りてすぐに館内へ入ることができました。見学場所は沢山あるのですが短時間なので、ぜひ3Dシアター「夢劇場」は観て欲しいと思いました。平日の雨でしたが、28名が一緒に入れ、ほっとしました。

3Dシアターでは画像が立体的に見えるので、川の流れが顔にかかりそうになったり、歌手が目の前で歌っていたりと、驚きと感動の時間でした。

昼食のお食事処やお買物処が近距離にあり、雨でも移動がスムーズでした。

帰路につく直前に雨が小降りになり、駐車場で記念写真が撮れ、無事に友部に着いて、皆さんの元気な姿を見送ることができました。

皆揃って記念撮影

宮前・鴻巣ブロック 対話と食事会

宮前・鴻巣ブロックの対話と食事会は5月27日に鴻巣集落センターで開催しました。参加者は59名でした。手作りの料理と「いろはの会」による昔話の紙芝居を楽しんでいただきました。

昔話の紙芝居

五平ブロック 対話と食事会

五平ブロックの対話と食事会は6月24日に五平公民館で開催しました。参加者は51名でした。昼食はお弁当に手作りのけんちん汁でした。「チンドン夢之屋」による南京玉すだれや歌舞伎早口言葉を楽しんでいただきました。お土産は女性部が心を込めて折り紙で作った楊枝入れと飴でした。

手づくりの楊枝入れ

私達がお世話しました

柿橋ブロック 対話と食事会

柿橋ブロックの対話と食事会は7月1日に地域福祉センターで開催しました。参加者は94名でした。昼食はお弁当に手作りの味噌汁とコーヒーゼリーでした。5人組みの「ローサス」という生バンドの伴奏で昔懐かしい歌を皆で歌って楽しんでいただきました。

ローサスの伴奏で歌う

クロッケー大会 開催

東支部第29回クロッケー大会が柿橋グラウンドで6月12日に開催され、8チーム24人が熱戦を繰り広げました。「西内郷ほのぼの会」Aチームが原宿会の大会4連覇を阻んで見事優勝しました。

大会風景

編集あとがき

北陸育ちの私にとって秋は嫌いな季節でした。普段は穏やかな海が次第に鉛色に変わり、それに合わせるように空も日一日と薄い膜を張ったようになります。やがて冬。

縁あって笠間に住んで40数年。現金なもので、今では青空の広がるこの季節がとても好きになりました。でも、ふるさとの秋を忘れたわけではありません。重い空には重い空なりの暮らしがあったことを、改めて思い出すからです。

（鈴木　龍子）